

ICGN Annual Japan Forum, hosted by JPX & TSE
14 July 2022

Opening Remarks from TSE: Yasuyuki Konuma, Senior Executive Officer, Tokyo Stock Exchange

ICGN ジャパン・フォーラム 東証小沼からのご挨拶

- 東京証券取引所の小沼でございます。本日は I C G N ジャパン・フォーラムにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。
- ご挨拶に先立ちまして、私からもこの度の安倍元首相の突然のご逝去に接しましたこと、謹んで哀悼の意を申し上げます。安倍元首相には株式市場の動向を常に気かけ、コーポレートガバナンス改革推進の礎を築いていただくなど、わが国金融資本市場の活性化へ大変なご尽力を頂きました。安倍元首相のご冥福を心からお祈り申し上げます。
- さて、このフォーラムは、 I C G N と共催という形で開催しております。東京証券取引所では、かねてよりコーポレートガバナンスの充実を目指して取り組む中で、グローバルな機関投資家との関係も強化すべく、年次総会やカンファレンスの開催など、 I C G N との協力をこれまで深めてまいりました。
- I C G N には、グローバル投資家の立場から、我が国のガバナンス改革に対して力強いサポートをいただいております。先ほどケリーさんからもお話がありましたが、ケリーさんには金融庁と東京証券取引所が共同事務局を務める「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」のメンバーとして参画いただいております。今年の5月の会議でも我が国のガバナンス改革をさらに加速していくための多数の貴重なご意見をいただきました。
- 皆様もご承知のとおり、私共は本年4月4日に現物市場の市場区分を見直し、プライム市場は、より高いガバナンス水準を備えたうえで、投資者との建設的な対話を中心に据えて、持続的な成長と中長期的な企業価値向上にコミットする企業向けの市場、と位置付けております。

- 本日は「社会・人的資本」と「環境」を切り口としたテーマということでございますが、昨年のコード改訂においては、これらテーマの重要性を意識した内容もいくつか盛り込んでいるところです。
- まず、「人的資本」の観点からは、中長期的な企業価値の向上に向けた人材戦略の重要性に鑑み、多様性の確保に向けた人材育成方針と社内環境整備を実施するとともに、中核人材の登用に際しても多様性の確保についての考え方と自主的かつ測定可能な目標を示すべき、という事項を盛り込みました。
- また、「環境」に関しては、これを含むサステナビリティを巡る課題の中で、重要な経営課題であることを認識し、中長期的な企業価値の向上の観点からこれら課題に積極的・能動的に取り組むよう検討を深めるべき、としております。なお、プライム市場の上場会社においては、この点に関しTCFDまたはそれと同等の枠組みに基づく気候変動関連開示の質と量の充実を進めるべき、と一段高い要求事項を設定しております。
- 先月6月には多くの上場会社においてコード改訂・新市場区分移行後初めての株主総会が行われました。総会後に更新された上場会社各社のガバナンス報告書を拝見しますと、中核人材の多様性の開示、サステナビリティの取組状況、気候変動関連開示の充実への検討が着実に進められている傾向が伺え、多くの会社にて前向きな変化が生じ始めていることを大変喜ばしく思っております。
- 本日は、このあと金融庁井藤様に基調講演をお願いしております。その後、上場会社の経営者や国内外の機関投資家など著名なスピーカーの方をお招きし、中長期的な企業価値向上と社会・環境における優先課題をどのように考えていけばよいか、活発なディスカッションが行われるものと期待しております。
- では、井藤様、お願いいたします。

(1, 450字)

Japan Association of Corporate Directors
日本取締役協会

JIAA



CFA Society Japan

JSI
Japan Stewardship Initiative

jicpa
日本公認会計士協会

HR Governance Leaders
Earth Driven COMPANY

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

MORROW
SODALI

JSS

J-Eurus IR

KPMG

SuMi TRUST
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

icj ICJ, Inc.
Investor Communications Japan

convene